

## 2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
健康心理学研究	1・2年次秋学期 (2・4セメスター)	講義 ※演習含む	2	家田 重晴
<b>授業概要</b>				
健康心理学の研究についての理解を深めるために、実験研究方法論、行動分析学の基礎、及びスポーツ・健康関連行動に影響する要因の研究について扱う。運動や生活習慣との関連が指摘されているセルフエスティームやレジリエンスについても扱う。				
<b>授業目標(到達目標)</b>				
実験的な研究についての適切な研究デザインを説明できる。スポーツ・健康関連行動に影響する要因の研究の概要を説明できる。				
<b>成績評価方法・基準</b>				
講義への取組み及び課題の実施状況から評価する。				
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>				
[テキスト] 特になし [参考書] 適宜紹介する。				
<b>授業計画</b>				
	<b>項目・内容</b>			
1	「健康心理学研究」の進め方			
2	実験研究方法論(1) 行動分析による評価			
3	実験研究方法論(2) 実験におけるコントロール			
4	実験研究方法論(3) 研究デザイン			
5	行動分析学の基礎(1) 行動分析学の原理			
6	行動分析学の基礎(2) 先行刺激			
7	行動分析学の基礎(3) 強化刺激			
8	スポーツ行動に影響する社会心理的要因			
9	健康関連行動に影響する社会心理的要因			
10	安全行動に影響する社会心理的要因			
11	セルフエスティームについて			
12	レジリエンスについて			
13	その他、セルフエスティームと関連する可能性のある概念			
14	演習: 学生による健康心理学関係の論文の紹介			
15	総括			
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>				
「演習」では、受講者に課題の提出を求める。				